



神奈川県内における 特殊詐欺発生状況等について

令和6年10月版
神奈川県警察本部
生活安全総務課

1 特殊詐欺認知状況(暫定値)

	令和6年9月末			前年同期比	
	件数	構成比	被害総額	件数	被害総額
特殊詐欺	1,363	--	約39億9,100万円	-158	+約8億500万円
オレオレ詐欺(息子・孫などをかたって現金をだまし取る)	458	33.6%	約24億8,800万円	-129	+約8億7,300万円
架空料金請求詐欺(ウイルス除去費用など、架空の請求をする)	126	9.2%	約4億8,000万円	-25	+約6,400万円
融資保証金詐欺(融資しないのに、手数料などをだまし取る)	7	0.5%	約400万円	+2	-約400万円
還付金詐欺(還付金手続とだまして、ATMへ誘導し振り込ませる)	168	12.3%	約3億1,300万円	-189	-約1億8,900万円
その他の手口	5	0.4%	約7,500万円	+5	+約7,500万円
キャッシュカード被害の合計	599	44.0%	+約6億3,000万円	+178	-約1,300万円
預貯金詐欺(キャッシュカード手渡し型) (キャッシュカードを手渡しで受け取ってだまし取る)	511	37.5%	約5億5,900万円	+289	+約1億7,600万円
キャッシュカード詐欺盗(キャッシュカードすり替え型) (キャッシュカードを封筒に入れさせ、別の封筒とすり替える)	88	6.5%	約7,100万円	-111	-約1億8,900万円

2 情報掲示板



匿名・流動型犯罪グループには関わらない



匿名・流動型犯罪グループは、犯罪を実行するに当たって、SNS等において、「高額バイト」「ホワイト案件」等の表現で仕事の内容を明らかにしないで犯罪の実行犯役を募集してきます。そして、あらかじめ運転免許証等の個人情報を匿名性の高い通信手段を使用して送信させ、応募者が犯行を躊躇したり、グループからの離脱意思を示すと個人情報を把握している等と脅迫して服従させ、実行犯役として繰り返し犯罪に加担させます。

匿名・流動型犯罪グループに関わらないためのポイント

① 応募しない

仕事内容を明らかにしない、「高額報酬」「ホワイト案件」「荷物を運ぶだけの簡単な仕事」等、怪しい募集には、応募しない。



② 警察に相談する

募集したことで自分自身や家族に危害を加える等と脅迫されたら、犯罪に加担せず、警察に相談する。



③ 加担後の結果を考える

一度でも犯罪に加担してしまうと、逮捕されるだけでなく、取り返しのつかない結果を招くことになってしまいます。

加担する前に加担後の結果を考える。



犯罪に関わる前に通報や相談を!

※ 匿名・流動型犯罪グループは、SNSなどを通じて、強盗をはじめ、特殊詐欺、窃盗等の犯罪の実行役を集め、離合集散を繰り返す犯罪グループのことです。

